

経済・金融 フラッシュ

中国経済：11月の製造業PMI ～概ね良好だが、これまでの好調には陰り

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 11月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は51.4%と10月から横ばいで、拡張・収縮の分岐点となる50%を14ヵ月連続で上回った。
- また、新規輸出受注指数が50.6%と0.2%ポイント上昇と改善傾向を維持、在庫関連の指数は50%割れが続いており、生産増で在庫が積み上がるリスクも今のところ小さい。
- 但し、新規受注指数が2ヵ月連続の低下、生産経営活動予想指数も3ヵ月連続の低下と、これまで好調に回復してきた中国景気には少し陰りも見え始めた。

【 総合指数は横ばいの51.4% 】

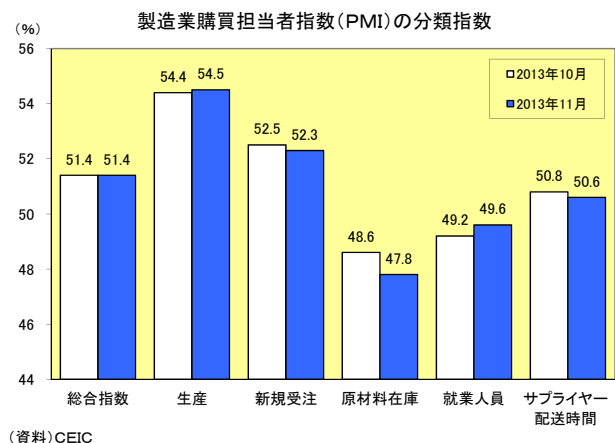
12月1日（日）、中国物流購買連合会と国家統計局サービス業調査センターは11月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると11月の総合指数は51.4%と10月から横ばいで、拡張・収縮の分岐点となる50%を14ヵ月連続で上回った（図表-1）。

図表-2に示した分類指数を見ると、25%の比重を持つ生産指数が10月より0.1%ポイント改善、就業人員指数が0.4%ポイント改善、サプライヤー配送時間指数（逆指数）が0.2%ポイント改善したものの、30%の比重を持つ新規受注指数が10月より0.2%ポイント悪化、原材料在庫指数が0.8%ポイント悪化したため、全体の動向を示す総合指数は10月と同水準に留まった。

（図表-1）



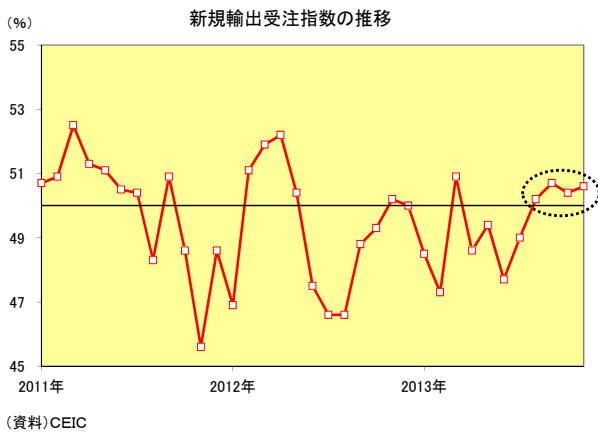
（図表-2）



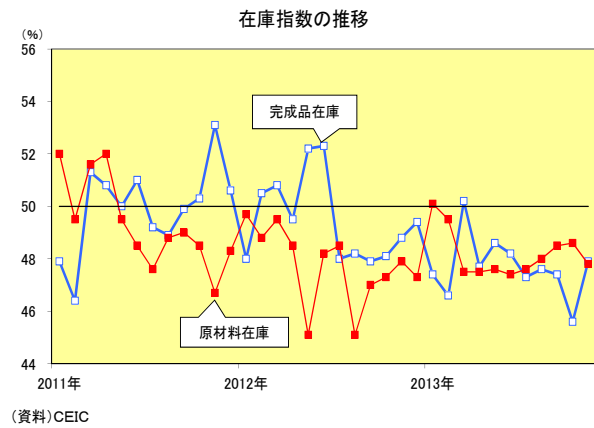
【 新規輸出受注は改善、在庫は減少傾向 】

輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数を見ると、11月は50.6%と10月より0.2%ポイント改善、4ヵ月連続で50%を上回った(図表-3)。ここ数ヵ月、生産が回復してきた背景には新規輸出受注の改善が寄与した面がある。また、図表-4に示したように完成品在庫指数や原材料在庫指数も50%割れが続いており、生産増で在庫が積み上がるリスクも今のところ小さい。

(図表-3)



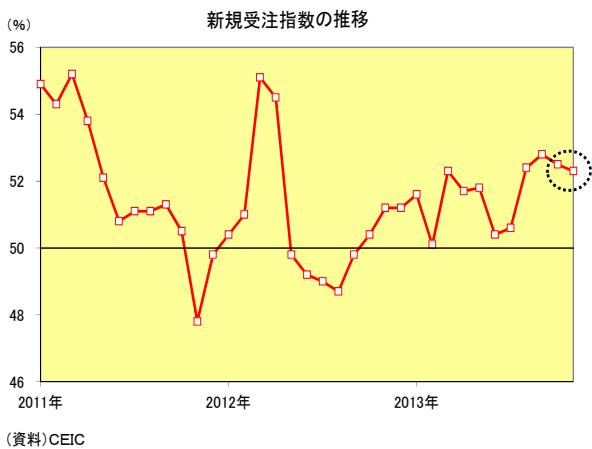
(図表-4)



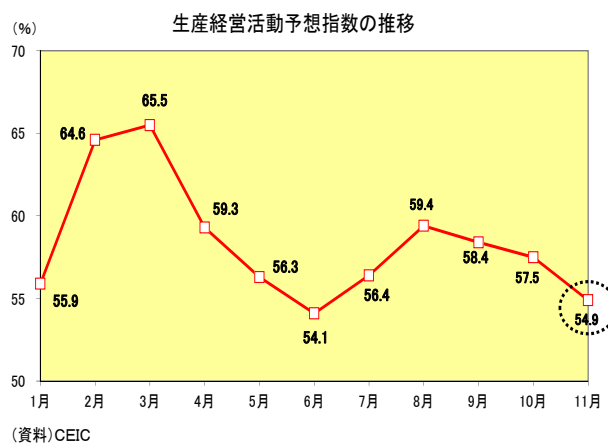
【 但し、これまでの好調には陰りも見え始めた 】

但し、11月の新規受注指数は52.3%と2ヵ月連続で低下(図表-5)、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数も54.9%と3ヵ月連続で低下しており(図表-6)、これまで好調に回復してきた中国景気には少し陰りも見え始めた。

(図表-5)



(図表-6)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。